

インターネット世界旅行  
2021/2/26 (金)

# サンクトペトロブルグ ロシア

吉岡 芳夫

本資料は、インターネット上の情報を使って作成しました。

# サンクトペトロブルグ（ロシア）

- ロシア観光で一番のハイライトとなる街、サンクトペテルブルク。
- ピョートル大帝の時代から都市計画により建設された街はロシアでも類をみない美しさです。
- 街ごとすっぽり世界遺産にも登録されているほど見どころの多い街です。
- サンクトペテルブルクのメインストリート、ネフスキー通りを歩き、世界三大美術館エルミタージュ美術館を訪れ、ネヴァ川に映えるペトロパブロフスク要塞の黄金の尖塔を眺めてみましょう。
- 夏の真夜中に跳ね橋が次々と開いていく光景には思わず拍手です。

# サンクトペテルブルクの基本情報

- サンクトペテルブルクは人口500万人(2012年10月現在)を有するロシア第二の都市。
- 広大なロシアの東の端にありバルト海に面しています。
- サンクトペテルブルクは1703年、ピョートル大帝の命により「西洋に開かれた窓」として建設が開始され、その後1914年までロシアの首都として発展してきました。
- 現在は文化・芸術の中心都市としてロシア内で一番多くの観光客が訪れる街でもあります

# サンクトペトロベルグの名所

- 1. エルミタージュ美術館
- 2. 血の上の救世主教会
- 3. 聖イサアク大聖堂
- 4. カザン大聖堂
- 5. ネフスキー大通り
- 6. トロイツキー大聖堂
- 7. ペトロパブロフスク要塞
- 8. ペテルゴフ
- 9. エカテリーナ宮殿

# エミルタージュ美術館



建物自体が世界遺産であり、世界三大美術館の一つ。

ロマノフ王朝の女帝エカテリーナ2世が、1775年に自分専用の隠れ家（エルミタージュ）展示室を建てたのがこの美術館の起源。

その後、歴代のロシア皇帝が美術品を収集し、ロシア革命後は貴族・商人から没収されたコレクションも集められ、冬の宮殿の全体の建物を含めて統合。

総収蔵品は約300万点とされ、ルネサンス期のものから印象派まで、貴重な美術品の数々が展示されている。

冬宮2階での部屋は

## 孔雀の時計のあるパヴィリオンの間、

謁見に使われた大玉座（聖ゲオルギー）の間、女神とピョートルが描かれたピョートル大帝の間  
銀器の展示室でもある紋章の間、

300人の肖像画がある1812年祖国戦争の間、  
美しい孔雀石の間、  
ロココ様式の着替えの間（ブドゥール）、  
黄金の客間、ニコライ2世の図書室などだ。

各部屋の家具、装飾小物、天井画、額入り絵画、シャンデリア、モザイクの床などどれをとっても芸術品。

孔雀の時計のあるパヴィリオンの間

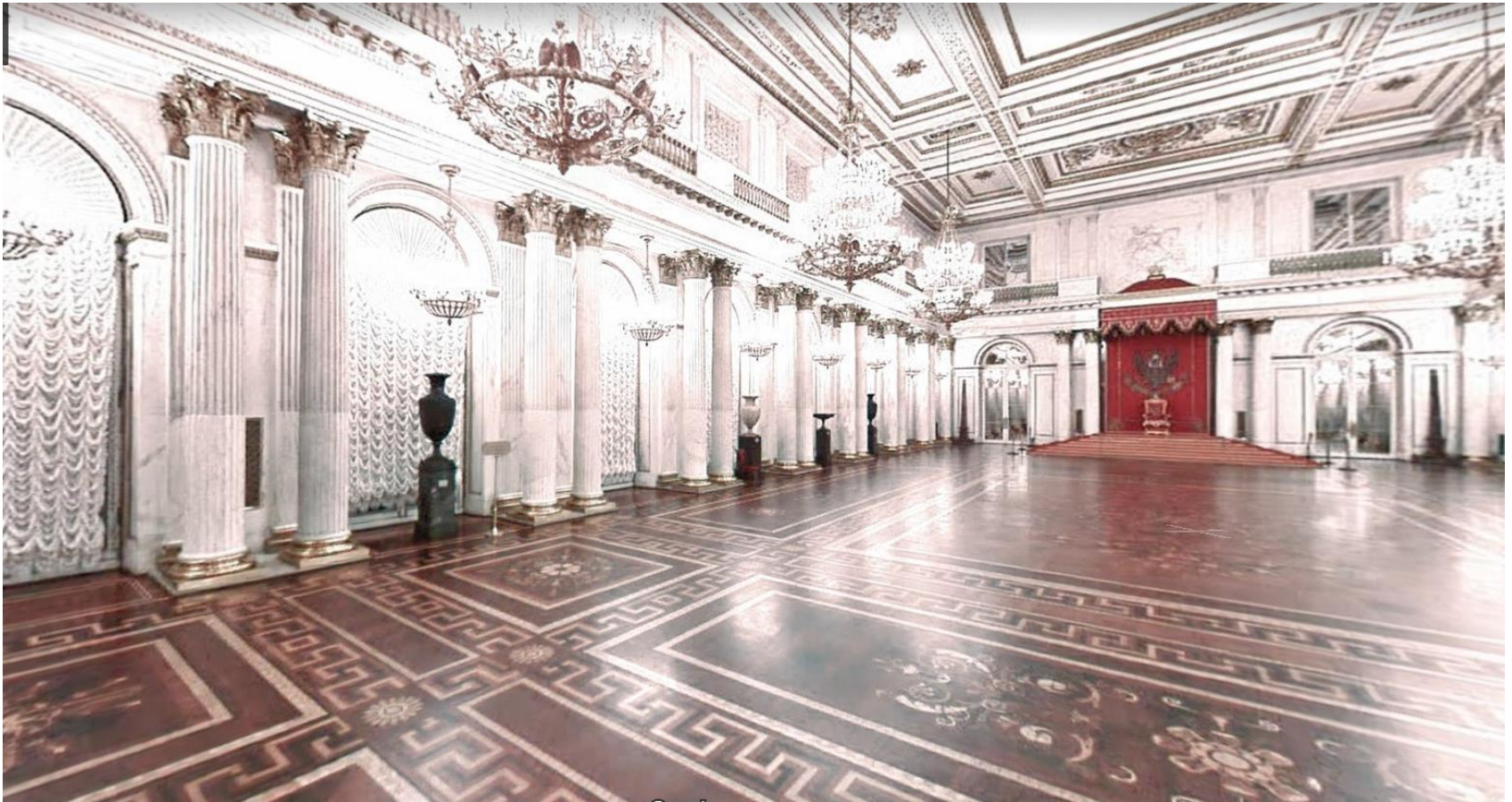


これらの冬宮2階のロマノフ王家の部屋とインテリアを見て回るだけでも、半日はかかる。

[エルミタージュ美術館 - Google マップ](#)



[エルミタージュ美術館 - Google マップ](#)



レオナルド・ダ・ヴィンチの  
『ブノワの聖母』



イタリア美術のコレクションが有名だ。  
中でも一番の人気は、レオナルド・ダ・ヴィンチの『ブノワの聖母』（ベヌアの聖母）と『リッタの聖母』の二作だ。

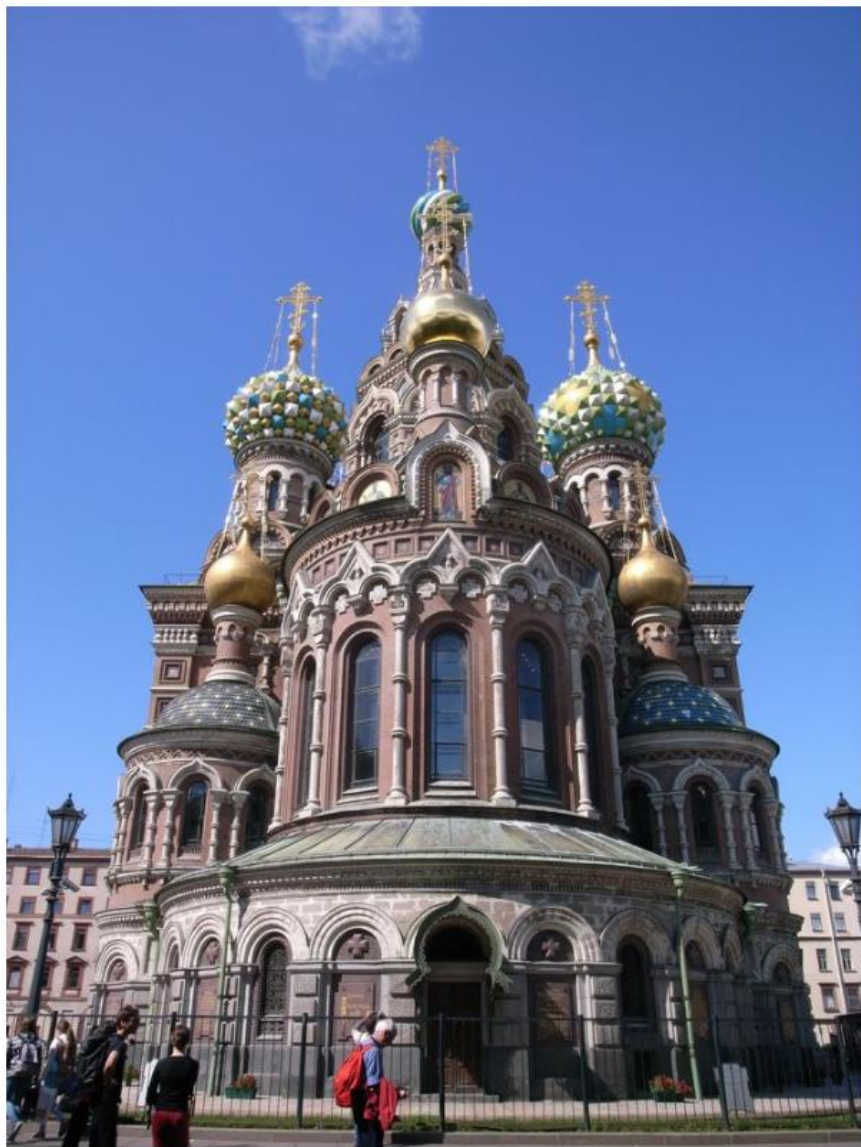
写真は『ブノワの聖母』で、若き日のレオナルドの最初の聖母子画だ。女性を描いた作品としては最も柔らかい表情で親しみやすい顔立ちをしている。

ラファエロの『コネスタービレの聖母』と『聖家族』も見逃せない。  
これら巨匠達の描いた聖母や聖家族の画を見れば、時を超えて、敬虔な気持ちに浸ることができる。

次に有名な作品としては、ティツアーノの『悔悛するマグダラのマリア』と『ダナエ』がある。これらはティツアーノが得意とする女性美あふれる絵画の傑作だ。



## 2. 血の上の救世主教会



息をのむ荘厳美！サンクトペテルブルクの聖堂

玉ねぎ型のクーポラが特徴の「血の上の救世主教会（Храм Спаса на Крови）」。

1881年、当時のロシア皇帝アレクサンドル2世がこの場所で爆弾テロに遭い、暗殺された。

聖堂は皇帝の死を悼み、事件現場の上に建てられたため、こう呼ばれている。

外観はモスクワの赤の広場に建つワシリー寺院に似た、ロシアの伝統的な教会様式。そしてなんとと言ってもこの教会の見どころは、モザイクタイルのイコン画で埋め尽くされた豪華な内装！

壁から柱、天井の全てを埋め尽くすその光景は、ロシア装飾建築の最高傑作とも称されるのも納得です

教会の内部は、多数のアイコンや絵画、装飾文様で埋めつくされている。

#### 堂内の精密なモザイク画は必見



[地図を見る](#)

壁画のように見えるのはすべてモザイク画。下絵は当時の一流画家たちによるもので、その総面積は7000平方メートル以上もあるのだとか。

鮮やかなブルーの地に微妙な陰影をつけて、写実的にあらわされた見事なモザイク画。規模の大きさ、色の鮮やかさ、そして精緻を極めたその技術にはただただ驚嘆するばかり。ロシア装飾建築の最高傑作とも称される。

堂内の運河寄りの一段低くなった部分は、アレクサンドル2世が爆弾を投げつけられた歩道。聖堂建設のきっかけとなった事件現場の歩道の敷石と鉄製の手すりが、当時のままの形で再生保存されてる。

巨費を投じて作られ、ロシア工芸技術の最高傑作ともいわれる教会だったが、あらゆる宗教が否定されたソ連時代には、倉庫として使われたり、交通に障害になるとして爆破計画もあったのだとか。聖堂の一角には、現在のように公開されるまでの修復過程を紹介する展示スペースがある。



[ペトロパヴロフスク要塞 - Google マップ](#) ペトロパヴロフスク要塞



# ペテルゴ宮殿





## [Google - Google マップ](#)

ペテルゴフはロシア・サンクトペテルブルクのペトロドヴォレツォフヌイ区にある町である





# サボール・ペトラ・イ・パヴラ

[Sven Krüger - Google マップ](#)



ビュー - 6月 2015

サボール・ペトラ・イ・パヴラ



# 琥珀の間



- 琥珀の間とは、ロシア連邦のサンクトペテルブルクにあるエカテリーナ宮殿内の一室である。
- その名の通り、部屋全体の装飾が琥珀で出来ており、これは世界で唯一のものである。



Денис Чагин - Google マップ

ヤンタルナヤ・コムナタ

